



# Cisco IOS ソフトウェア マニュアルについて

---

このマニュアルでは、Cisco IOS ソフトウェアのマニュアルで使用される目標、対象読者、表記法、およびマニュアルの構成について説明します。技術サポート、追加のマニュアル、およびその他の情報をシスコから取得するためのリソースも記載されています。このマニュアルは、次のセクションから構成されています。

- 「マニュアルの目標」 (P.iii)
- 「対象読者」 (P.iii)
- 「マニュアルの表記法」 (P.iii)
- 「マニュアルの構成」 (P.v)
- 「追加のリソースとマニュアルのフィードバック」 (P.xv)

## マニュアルの目標

Cisco IOS マニュアルでは、シスコのネットワーク デバイスを設定して保守するために使用可能なタスクとコマンドについて説明します。

## 対象読者

Cisco IOS マニュアルセットは、シスコのネットワーク デバイス（ルータやスイッチなど）の設定と保守を行うが、設定タスクと保守タスク、タスク間の関係、または特定のタスクを実行するために必要な Cisco IOS コマンドに関する知識がないユーザを対象としています。Cisco IOS マニュアルセットは、Cisco IOS ソフトウェアの使用経験があり、Cisco IOS の現行リリースの新機能、新しい設定オプション、および新しいソフトウェア特性を理解する必要があるユーザも対象としています。

## マニュアルの表記法

Cisco IOS マニュアルでは、ルータという用語は、さまざまなシスコ製品（たとえば、ルータ、アクセス サーバ、およびスイッチ）を指すために使用されることがあります。Cisco IOS ソフトウェアをサポートするこれらの製品とその他のネットワーク デバイスは、例で同じように示され、図示のためだけに使用されます。ある製品を示す例は、他の製品がサポートされないことを必ずしも意味しているわけではありません。

このセクションには次のトピックがあります。

- 「印刷時の表記法」(P.iv)
- 「コマンド構文の表記」(P.iv)
- 「ソフトウェアの表記法」(P.v)
- 「読者への警告の表記法」(P.v)

## 印刷時の表記法

Cisco IOS マニュアルでは、次の印刷時の表記法が使用されます。

| 表記法        | 説明   |
|------------|--|
| ^ または Ctrl | ^ 記号と Ctrl は両方ともキーボードの Control (Ctrl) キーを表します。たとえば、^D または Ctrl+D というキーの組み合わせは、Ctrl キーを押しながら D キーを押すことを意味します (キーは大文字で表記しますが、小文字で入力してもかまいません)。   |
| ストリング      | ストリングは、イタリックで示される引用符を付けない一組の文字です。たとえば、Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コミュニティストリングを <i>public</i> に設定する場合は、ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングと見なされます。 |

## コマンド構文の表記

Cisco IOS マニュアルでは、次のコマンド構文の表記が使用されます。

| 表記法         | 説明   |
|-------------|--|
| 太字          | 記載されているとおりに入力するコマンドおよびキーワードは、太字で示します。                                |
| イタリック体      | ユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示します。   |
| [x]         | 省略可能なキーワードまたは引数は角カッコで囲みます。   |
| ...         | 構文要素の後の省略記号 (3 つの連続する太字ではないピリオドでスペースを含まない) は、その要素を繰り返すことができることを示します。 |
|             | 波カッコまたは角カッコで囲まれたパイプと呼ばれる縦棒は、キーワードセットまたは引数セットのうちの選択肢を示します。            |
| [x   y]     | パイプで区切られたキーワードまたは引数を囲む角カッコは、省略可能な選択肢を示します。                           |
| {x   y}     | パイプで区切られたキーワードまたは引数を囲む波カッコは、必須の選択肢を示します。                             |
| [x {y   z}] | 角カッコ内の波カッコおよびパイプは、省略可能な要素の中で、必ずいずれかか 1 つを選択しなければならないことを示します。         |

## ソフトウェアの表記法

Cisco IOS ソフトウェアでは、次のプログラム コードの表記法が使用されます。

| 表記法                      | 説明   |
|--------------------------|--|
| Courier font             | courier フォントは PC または端末画面に表示される情報に使用されます。   |
| <b>Bold Courier font</b> | 太字の courier フォントは、ユーザが入力しなければならないテキストを示します。  |
| < >                      | かぎカッコで囲まれたテキストは、パスワードなど、表示されないテキストを表します。かぎカッコは、ASCII テキストなど、イタリック体スタイルがサポートされないコンテキストでも使用されます。 |
| !                        | 行の先頭にある感嘆符は、コードの行ではなくコメントの後に続くテキストです。感嘆符は、Cisco IOS ソフトウェアの特定のプロセスでも表示されます。                    |
| [ ]                      | 角カッコは、システム プロンプトに対するデフォルトの応答です。  |

## 読者への警告の表記法

Cisco IOS マニュアルでは、読者への警告について次の表記法が使用されます。



注意

「**要注意**」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



(注)

「**注釈**」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



ワンポイントアドバイス

「**時間の節約に役立つ操作**」です。記述されている操作を実行すると時間を節約できます。

## マニュアルの構成

ここでは、Cisco IOS マニュアルセット、その構成方法、および Cisco.com でのアクセス方法について説明します。コンフィギュレーションガイド、コマンドリファレンス、およびマニュアルセットを構成する補足の参照とリソースもリストされています。次のトピックがあります。

- 「[Cisco IOS マニュアルセット](#)」 (P.vi)
- 「[Cisco.com の Cisco IOS マニュアル](#)」 (P.vi)
- 「[コンフィギュレーションガイド、コマンドリファレンス、および補足リソース](#)」 (P.vii)

## Cisco IOS マニュアル セット

Cisco IOS マニュアル セットは次のように構成されます。

- リリース ノートおよび警告には、リリースのプラットフォーム、テクノロジー、および機能サポートに関する情報と、リリースされた Cisco IOS ソフトウェアでの重大度 1（最悪）、重大度 2（重大）、および重大度 3（中程度）の障害に関する説明が記載されています。他のマニュアルの前にリリース ノートを確認して、機能に更新が行われたかどうかを調べてください。
- テクノロジー別に編成され、標準の Cisco IOS リリースごとに発行される一連のコンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス。
  - コンフィギュレーション ガイド：Cisco IOS 機能の概念的な説明とタスク指向の説明が記載されているマニュアルの組み合わせ。
  - コマンド リファレンス：関連するコンフィギュレーション ガイドを構成する、Cisco IOS 機能とプロセスで使用されるコマンドに関する詳細が記載された、アルファベット順のコマンド ページの組み合わせ。テクノロジーごとに、すべての Cisco IOS リリースをサポートし、標準のリリースのたびに更新される単一のコマンド リファレンスがあります。
- 特定のリリースにおける全コマンドと、リリースでの新規、変更済み、削除済み、または置き換え済みの全コマンドのリスト。
- **debug** コマンドのコマンド リファレンス マニュアル。コマンド ページはアルファベット順にリストされます。
- すべての Cisco IOS リリースのシステム メッセージのリファレンス マニュアル。

## Cisco.com の Cisco IOS マニュアル

次のセクションでは、Cisco IOS マニュアル セットの構成と、さまざまなタイプのマニュアルへのアクセス方法について説明します。

プラットフォームのサポートと Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://www.cisco.com/go/cfn> からアクセスします。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

### 機能ガイド

Cisco IOS 機能は、機能ガイドに文書化されています。機能ガイドでは、多数の異なるソフトウェア リリースとプラットフォームでサポートされる 1 つの機能または関連する機能グループについて説明します。Cisco IOS ソフトウェア リリースまたはプラットフォームでは、機能ガイドで文書化されているすべて機能がサポートされないことがあります。そのガイドでどの機能がソフトウェア リリースでサポートされるかについては、機能ガイドの最後にある機能情報の表を参照してください。

### コンフィギュレーション ガイド

コンフィギュレーション ガイドは、テクノロジーとリリース別に提供され、リリースとテクノロジーに関連する個々の機能ガイドセットで構成されます。

### コマンド リファレンス

コマンド リファレンス マニュアルには、多数の異なるソフトウェア リリースとプラットフォームでサポートされる Cisco IOS コマンドの説明が記載されています。マニュアルはテクノロジー別に構成されています。すべての Cisco IOS コマンドについては、<http://tools.cisco.com/Support/CLILookup> の Command Lookup Tool を使用するか、[http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/mcl/allreleasemcl/all\\_book.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/ios/mcl/allreleasemcl/all_book.html) にある *Cisco IOS Master Command List, All Releases* を使用してください。

## Cisco IOS 補足マニュアルとリソース

補足マニュアルとリソースは、表 2 (P.xiv) にリストされています。

# コンフィギュレーション ガイド、コマンド リファレンス、および 補足リソース

表 1 には、マニュアルの内容の簡単な説明を含め、Cisco IOS ソフトウェアのコンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスがアルファベット順にリストされています。Cisco IOS コマンド リファレンスには、すべてのリリースの Cisco IOS ソフトウェアのコマンドが記載されています。コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスでは、多数の異なるソフトウェア リリースとプラットフォームがサポートされます。お使いの Cisco IOS ソフトウェア リリースまたはプラットフォームでは、一部のテクノロジーがサポートされないことがあります。

表 2 には、Cisco IOS ソフトウェアのコンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスを補足するマニュアルとリソースがリストされています。これらの補足リソースには、リリース ノートおよび警告、マスター コマンド リスト、新規、変更済み、削除済み、および置き換え済みのコマンドのリスト、システム メッセージ、およびデバッグ コマンド リファレンスがあります。

特定のネットワーク デバイスの設定と操作に関する追加情報を取得して、Cisco IOS マニュアルにアクセスするには、次の URL にある Cisco.com の Product/Technologies Support エリアにアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/go/techdocs>

表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル   | 機能/プロトコル/テクノロジー                                    |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS AppleTalk Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS AppleTalk Command Reference』</li> </ul>                                   | AppleTalk プロトコル。                                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Asynchronous Transfer Mode Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Asynchronous Transfer Mode Command Reference』</li> </ul> | LAN ATM、Multiprotocol over ATM (MPoA)、および WAN ATM。 |

表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス (続き)

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル  | 機能/プロトコル/テクノロジー   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Bridging and IBM Networking Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Bridging Command Reference』</li> <li>• 『Cisco IOS IBM Networking Command Reference』</li> </ul> | <p>トランスペアレントおよび Source-Route Transparent (SRT; ソースルート トランスペアレント) ブリッジング、Source-Route Bridging (SRB; ソースルート ブリッジング)、Token Ring Inter-Switch Link (TRISL; トークンリング スイッチ間リンク)、ならびに Token Ring Route Switch Module (TRRSM; トークンリング ルート スイッチ モジュール)。</p> <p>Data-link Switching Plus (DLSw+; データリンク スイッチング プラス)、Serial Tunnel (STUN; シリアル トンネル)、Block Serial Tunnel (BSTUN; ブロック シリアル トンネル)、Logical Link Control, Type 2 (LLC2; 論理リンク制御タイプ 2)、Synchronous Data Link Control (SDLC; 同期データ リンク制御)、IBM Network Media Translation (Synchronous Data Logical Link Control (SDLLC; 同期データ論理リンク制御) および Qualified LLC (QLLC; 修飾 LLC) を含む)、Downstream Physical Unit (DSPU; 下流物理ユニット)、Systems Network Architecture (SNA; システム ネットワーク アーキテクチャ) サービス ポイント、SNA フレーム リレー アクセス、Advanced Peer-to-Peer Networking (APPN; 拡張分散ネットワーク機能)、Native Client Interface Architecture (NCIA; ネイティブ クライアント インターフェイス アーキテクチャ) クライアント/サーバテクノロジー、ならびに IBM Channel Attach。</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Broadband Access Aggregation and DSL Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Broadband Access Aggregation and DSL Command Reference』</li> </ul>                    | <p>PPP over ATM (PPPoA) と PPP over Ethernet (PPPoE)。</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Carrier Ethernet Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Carrier Ethernet Command Reference』</li> </ul>  | <p>Operations, Administration, and Maintenance (OAM; 操作、管理、メンテナンス)。イーサネット Connectivity Fault Management (CFM) ITU-T Y.1731 障害管理機能。イーサネット Local Management Interface (ELMI)。サービス インスタンス、ブリッジ ドメイン、および Pseudo Wire 上での MAC アドレス サポート。IEEE 802.3ad リンク ブリッジ。イーサネット、ギガビット イーサネット リンク、および EtherChannel バンドルの Link Aggregation Control Protocol (LACP) サポート。ギガビット EtherChannel バンドル上での Stateful Switchover (SSO)、In Service Software Upgrade (ISSU; インサービス ソフトウェア アップグレード)、Cisco Nonstop Forwarding (NSF) の LACP サポート、および Link Layer Discovery Protocol (LLDP) および Media Endpoint Discovery (MED)。</p>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Configuration Fundamentals Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Configuration Fundamentals Command Reference』</li> </ul>  | <p>自動インストール、設定、Cisco IOS Command-Line Interface (CLI; コマンドライン インターフェイス)、Cisco IOS File System (IFS)、Cisco IOS Web ブラウザ ユーザ インターフェイス (UI)、基本的なファイル転送サービス、およびファイル管理。</p>  |

表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス (続き)

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル   | 機能/プロトコル/テクノロジー   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS DECnet Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS DECnet Command Reference』</li> </ul>   | DECnet プロトコル。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Dial Technologies Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Dial Technologies Command Reference』</li> </ul>                               | 非同期通信、ダイヤル バックアップ、ダイヤラ テクノロジー、ダイヤルイン端末サービスと AppleTalk Remote Access (ARA)、Dial-on-Demand Routing (DDR; ダイヤル オンデマンドルーティング)、ダイヤルアウト、ISDN、大規模のダイヤルアウト、モデムとリソース プーリング、Multilink PPP (MLP; マルチリンク PPP)、PPP、および Virtual Private Dial-up Network (VPDN; バーチャル プライベート ダイヤルアップ ネットワーク)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Flexible NetFlow Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Flexible NetFlow Command Reference』</li> </ul>                                 | 柔軟性のある NetFlow。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS High Availability Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS High Availability Command Reference』</li> </ul>                               | High Availability (HA; ハイ アベイラビリティ) を備えたエンドツーエンド ネットワークの作成を容易にするためのさまざまなネットワーク セグメント (企業アクセスからサービス プロバイダー コアに至る) で使用可能なさまざまなハイ アベイラビリティ機能とテクノロジー。Cisco IOS HA 機能とテクノロジーは、システムレベルの復元力、ネットワークレベルの復元力、および復元力のために埋め込まれた管理の 3 つの主な領域にカテゴリ化できます。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Intelligent Services Gateway Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Intelligent Services Gateway Command Reference』</li> </ul>         | 加入者 ID、サービスとポリシーの判別、セッション作成、セッション ポリシー適用、セッション ライフサイクル管理、アクセスおよびサービス使用のアカウンティング、およびセッション状態モニタリング。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Interface and Hardware Component Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Interface and Hardware Component Command Reference』</li> </ul> | LAN インターフェイス、論理インターフェイス、シリアル インターフェイス、仮想インターフェイス、およびインターフェイス コンフィギュレーション。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Addressing Services Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Addressing Services Command Reference』</li> </ul>                     | Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル)、Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換)、Domain Name System (DNS; ドメイン ネーム システム)、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP; ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル)、および Next Hop Address Resolution Protocol (NHRP)。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Application Services Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Application Services Command Reference』</li> </ul>                   | Enhanced Object Tracking (EOT; 拡張オブジェクト トラッキング)、Gateway Load Balancing Protocol (GLBP; ゲートウェイ ロード バランシング プロトコル)、Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル)、IP サービス、Server Load Balancing (SLB)、Stream Control Transmission Protocol (SCTP)、Transmission Control Protocol (TCP; 伝送制御プロトコル)、Web Cache Communication Protocol (WCCP; Web キャッシュ通信プロトコル)、User Datagram Protocol (UDP; ユーザ データグラム プロトコル)、および Virtual Router Redundancy Protocol (VRRP; 仮想ルータ冗長プロトコル)。 |

表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス (続き)

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル   | 機能/プロトコル/テクノロジー  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Mobility Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Mobility Command Reference』</li> </ul>   | Mobile Ad hoc Network (MANet) およびシスコのモバイルネットワーク。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Multicast Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Multicast Command Reference』</li> </ul>   | Protocol Independent Multicast (PIM) sparse mode 希薄モード (PIM-SM; PIM 希薄モード)、bidirectional PIM (bidir-PIM; 双方向 PIM)、Source Specific Multicast (SSM)、Multicast Source Discovery Protocol (MSDP)、Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル)、および Multicast VPN (MVPN; マルチキャスト VPN)。 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: BFD Configuration Guide』</li> </ul>  | Bidirectional Forwarding Detection (BFD)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: BGP Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Routing: BGP Command Reference』</li> </ul>                                   | Border Gateway Protocol (BGP; ボーダー ゲートウェイ プロトコル)、マルチプロトコル BGP、IP マルチキャスト用マルチプロトコル BGP 拡張。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: EIGRP Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Routing: EIGRP Command Reference』</li> </ul>                               | Enhanced Interior Gateway Routing Protocol (EIGRP)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: ISIS Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Routing: ISIS Command Reference』</li> </ul>                                 | Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: ODR Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Routing: ODR Command Reference』</li> </ul>                                   | On-Demand Routing (ODR; オンデマンド ルーティング)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: OSPF Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Routing: OSPF Command Reference』</li> </ul>                                 | Open Shortest Path First (OSPF)。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: Protocol-Independent Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Routing: Protocol-Independent Command Reference』</li> </ul> | IP ルーティング プロトコル独立機能およびコマンド。一般的な Policy-Based Routing (PBR; ポリシーベース ルーティング) 機能およびコマンドが含まれます。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Routing: RIP Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Routing: RIP Command Reference』</li> </ul>                                   | Routing Information Protocol (RIP)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP SLAs Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP SLAs Command Reference』</li> </ul>   | Cisco IOS IP Service Level Agreement (IP SLA; IP サービス レベル契約)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IP Switching Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IP Switching Command Reference』</li> </ul>   | Cisco Express Forwarding、ファスト スイッチング、および Multicast Distributed Switching (MDS)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS IPv6 Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS IPv6 Command Reference』</li> </ul>   | IPv6 機能、プロトコル、およびテクノロジーについては、IPv6 のマニュアル『 <a href="#">Start Here</a> 』にアクセスしてください。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS ISO CLNS Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS ISO CLNS Command Reference』</li> </ul>   | ISO Connectionless Network Service (CLNS; コネクションレス型ネットワーク サービス)。   |



表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス (続き)

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル   | 機能/プロトコル/テクノロジー  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS LAN Switching Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS LAN Switching Command Reference』</li> </ul>   | VLAN、Inter-Switch Link (ISL; スイッチ間リンク) カプセル化、IEEE 802.10 カプセル化、IEEE 802.1Q カプセル化、および Multilayer Switching (MLS; マルチレイヤ スイッチング)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Gateway GPRS Support Node Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Gateway GPRS Support Node Command Reference』</li> </ul> | 第 2.5 世代 General Packet Radio Service (GPRS; グローバル パケット ラジオ サービス) および第 3 世代 Universal Mobile Telecommunication System (UMTS) ネットワークにおける Cisco IOS Gateway GPRS Support Node (GGSN; ゲートウェイ GPRS サポート ノード)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Home Agent Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Home Agent Command Reference』</li> </ul>                               | Cisco Mobile Wireless Home Agent : モバイル IP またはプロキシ モバイル IP サービスが提供されるモバイル端末のアンカー ポイント。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Packet Data Serving Node Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Packet Data Serving Node Command Reference』</li> </ul>   | Cisco Packet Data Serving Node (PDSN) : モバイル インフラストラクチャと標準の IP ネットワーク間にあり、Code Division Multiple Access (CDMA; 符号分割多重接続) 環境でパケット データ サービスを使用可能にするワイヤレス ゲートウェイ。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Radio Access Networking Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Mobile Wireless Radio Access Networking Command Reference』</li> </ul>     | Cisco IOS 無線アクセス ネットワーク製品。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Multiprotocol Label Switching Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Multiprotocol Label Switching Command Reference』</li> </ul>                         | MPLS Label Distribution Protocol (LDP; ラベル配布プロトコル)、MPLS レイヤ 2 VPN、MPLS レイヤ 3 VPN、MPLS Traffic Engineering (TE; トラフィック エンジニアリング)、および MPLS Embedded Management (EM) と MIB。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Multi-Topology Routing Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Multi-Topology Routing Command Reference』</li> </ul>                                       | ユニキャストおよびマルチキャスト トポロジの設定、トラフィックの分類、ルーティング プロトコル サポート、および ネットワーク管理サポート。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS NetFlow Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS NetFlow Command Reference』</li> </ul>   | ネットワーク トラフィック データの分析、集約キャッシュ、およびエクスポート機能。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Network Management Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Network Management Command Reference』</li> </ul>   | 基本的なシステム管理、システム モニタリングとロギング、トラブルシューティング、ロギング、および障害管理、Cisco Discovery Protocol、Cisco IOS Scripting with Tool Control Language (TCL)、Cisco Networking Service (CNS)、DistributedDirector、Embedded Event Manager (EEM; 組み込み型イベントマネージャ)、Embedded Resource Manager (ERM)、Embedded Syslog Manager (ESM)、HTTP、Remote Monitoring (RMON; リモート モニタリング)、SNMP、および VPN Device Manager Client for Cisco IOS ソフトウェア (XSM Configuration)。 |

表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス (続き)

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル   | 機能/プロトコル/テクノロジー   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Novell IPX Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Novell IPX Command Reference』</li> </ul>                                     | Novell Internetwork Packet Exchange (IPX) プロトコル。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Optimized Edge Routing Command Reference』</li> </ul>   | Optimized Edge Routing (OER) モニタリング、およびネットワーク間の複数接続の場合の自動ルート最適化と負荷分散。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Performance Routing Configuration Guide』</li> </ul>  | Performance Routing (PfR) は標準的なルーティング技術の機能を高める技術であり、アプリケーション トラフィック用に最適な出力パスまたは入力パスを判断するため、WAN インフラストラクチャ上の 2 つのデバイス間のパスのパフォーマンスの追跡または品質の確認が行えます。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Quality of Service Solutions Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Quality of Service Solutions Command Reference』</li> </ul> | トラフィック キューイング、トラフィック ポリシング、トラフィック シェーピング、Modular QoS CLI (MQC; モジュラ QoS CLI)、Network-Based Application Recognition (NBAR)、QoS のマルチリンク PPP (MLP)、ヘッダー圧縮、AutoQoS、Resource Reservation Protocol (RSVP; リソース予約プロトコル)、および Weighted Random Early Detection (WRED; 重み付けランダム早期検出)。                              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Security Command Reference』</li> </ul>   | Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト)、Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウントイング)、ファイアウォール、IP セキュリティと暗号化、ネイバルータ認証、ネットワーク アクセス セキュリティ、ルータの認証によるネットワーク データ暗号化、Public Key Infrastructure (PKI; 公開鍵インフラストラクチャ)、RADIUS、TACACS+、端末アクセス セキュリティ、およびトラフィック フィルタ。                    |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Security Configuration Guide: Securing the Data Plane』</li> </ul>  | アクセス コントロール リスト (ACL)、ファイアウォール、Context-Based Access Control (CBAC; コンテキストベース アクセス コントロール) およびゾーンベース ファイアウォール、Cisco IOS Intrusion Prevention System (IPS; 侵入防御システム)、Flexible Packet Matching、Unicast Reverse Path Forwarding (uRPF; ユニキャスト RPF)、Threat Information Distribution Protocol (TIDP) および TMS。 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Security Configuration Guide: Securing the Control Plane』</li> </ul>   | Control Plane Policing、ネイバフッド ルータ認証。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Security Configuration Guide: Securing User Services』</li> </ul>   | AAA (802.1x 認証と Network Admission Control (NAC; ネットワーク アドミッションコントロール) を含む)、セキュリティ サーバプロトコル (RADIUS と TACACS+)、Secure Shell (SSH; セキュア シェル)、ネットワークング デバイスのセキュア アクセス (Autosecure とロールベース CLI アクセスを含む)、合法的傍受。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS セキュリティ コンフィギュレーション ガイド : Secure Connectivity』</li> </ul>   | IPsec VPN の Internet Key Exchange (IKE; インターネットキー エクスチェンジ)、IPsec データ プレーン機能、IPsec 管理機能、公開鍵インフラストラクチャ (PKI)、Dynamic Multipoint VPN (DMVPN; ダイナミック マルチポイント VPN)、Easy VPN、Cisco Group Encrypted Transport VPN (GETVPN)、SSL VPN。  |

表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス (続き)

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル   | 機能/プロトコル/テクノロジー  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Service Advertisement Framework Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Service Advertisement Framework Command Reference』</li> </ul> | Cisco Service Advertisement Framework。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Service Selection Gateway Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Service Selection Gateway Command Reference』</li> </ul>             | 加入者認証、サービス アクセス、およびアカウンティング。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Software Activation Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Software Activation Command Reference』</li> </ul>                         | シスコ ソフトウェアのライセンスを取得して検証することによって、Cisco IOS ソフトウェア フィーチャセットを有効にするために編成されたプロセスとコンポーネントの集合。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Software Modularity Installation and Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Software Modularity Command Reference』</li> </ul>        | ソフトウェア モジュラリティ イメージのインストールと基本設定。単一のルート プロセッサと二重のルート プロセッサへのインストール、インストールのロールバック、ソフトウェア モジュラリティ バインディング、ソフトウェア モジュラリティ プロセス、およびパッチが含まれます。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Terminal Services Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS Terminal Services Command Reference』</li> </ul>                             | DEC、Local-Area Transport (LAT)、および X.25 Packet Assembler/Disassembler (PAD; パケット アセンブラ/ディスアセンブラ)。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Virtual Switch Command Reference』</li> </ul>   | <p>仮想スイッチの冗長性、ハイ アベイラビリティ、およびパケット処理、スタンドアロンスイッチ モードと仮想スイッチ モード間の変換、Virtual Switch Link (VSL; 仮想スイッチ リンク)、Virtual Switch Link Protocol (VSLP; 仮想スイッチ リンク プロトコル)。</p> <p>(注) 仮想スイッチの設定については、Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチまたは Metro Ethernet 6500 シリーズ スイッチの製品固有のソフトウェア設定情報を参照してください。</p>                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS Voice Configuration Library』</li> <li>• 『Cisco IOS Voice Command Reference』</li> </ul>   | 音声制御プロトコルの Cisco IOS サポート、相互運用性、物理および仮想インターフェイス管理、およびトラブルシューティング。ライブラリには、IP テレフォニー アプリケーションのマニュアルが含まれています。   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>• 『Cisco IOS VPDN Configuration Guide』</li> <li>• 『Cisco IOS VPDN Command Reference』</li> </ul>   | Layer 2 Tunneling Protocol (L2TP; レイヤ 2 トンネリング プロトコル) ダイアルアウト ロード バランシングと冗長性、L2TP 拡張フェールオーバー、L2TP セキュリティ VPDN、Dialed Number Identification Service (DNIS; 着信番号識別 サービス) によるマルチホップ、L2TP および Layer 2 Forwarding (L2F) の場合のタイマーと再試行の改良、RADIUS アトリビュート 82 (トンネル割り当て ID)、VPDN ユーザのシェルベース認証、トンネル ターミネータでの RADIUS によるトンネル認証。 |

表 1 Cisco IOS コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンス (続き)

| コンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスの<br>タイトル   | 機能/プロトコル/テクノロジー  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Wide-Area Networking Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Wide-Area Networking Command Reference』</li> </ul> | フレーム リレー、Layer 2 Tunnel Protocol Version 3 (L2TPv3; レイヤ 2 トンネル プロトコル バージョン 3)、L2VPN 擬似回線冗長性、L2VPN インターワーキング、レイヤ 2 ローカル スイッチング、Link Access Procedure, Balanced (LAPB; 平衡型リンク アクセス手順)、および X.25。  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>『Cisco IOS Wireless LAN Configuration Guide』</li> <li>『Cisco IOS Wireless LAN Command Reference』</li> </ul>                 | ブロードキャスト キー ローテーション、IEEE 802.11x サポート、IEEE 802.1x オーセンティケータ、Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) のための IEEE 802.1x ローカル認証サービス、Multiple Basic Service Set ID (BSSID)、Wi-Fi Multimedia (WMM) 必須要素、および Wi-Fi Protected Access (WPA)。 |

表 2 には、Cisco IOS ソフトウェアのコンフィギュレーション ガイドとコマンド リファレンスを補足するマニュアルとリソースがリストされています。

表 2 Cisco IOS 補足マニュアルとリソース

| マニュアル タイトルまたはリソース   | 説明  |
|---|---|
| 『Cisco IOS Master Command List, All Releases』             | すべての Cisco IOS リリースで文書化されている全コマンドのアルファベット順のリスト。   |
| 『Cisco IOS New, Modified, Removed, and Replaced Commands』 | Cisco IOS リリースの新規、変更済み、削除済み、および置き換え済みの全コマンドのリスト。  |
| 『Cisco IOS System Message Guide』                          | Cisco IOS システム メッセージのリストと説明。システム メッセージは、ご使用のシステムの問題を示しているか、単なる通知である場合があります。通信回線、内部ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題の診断に役立つことがあります。   |
| 『Cisco IOS Debug Command Reference』                       | 使用に関する簡単な説明、コマンド構文、使用上のガイドラインを含む、 <b>debug</b> コマンドのアルファベット順のリスト。   |
| リリース ノートおよび監視   | 新機能と変更された機能およびシステム要件に関する情報、および特定のソフトウェア リリースに関するその他の役立つ情報。特定の Cisco IOS ソフトウェア リリースの障害に関する情報。   |
| MIB   | ネットワークのモニタリングに使用されるファイル。選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、およびフィチャセット用の MIB を見つけてダウンロードするには、 <a href="#">Cisco MIB Locator</a> を使用します。   |
| RFC   | (適切な場合) Cisco IOS マニュアルで参照する、Internet Engineering Task Force (IETF; インターネット技術特別調査委員会) によって保守される標準のドキュメント。参照される RFC の全文は次の URL で入手できます。<br><a href="http://www.rfc-editor.org/">http://www.rfc-editor.org/</a> |

## 追加のリソースとマニュアルのフィードバック

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は毎月リリースされ、シスコの新規および改訂版のすべての技術マニュアルについて説明しています。『*What's New in Cisco Product Documentation*』には、次のリソースの入手/利用方法に関する情報も記載されています。

- 技術マニュアル
- シスコ製品のセキュリティの概要
- Product Alert および Field Notice
- テクニカル サポート

Cisco IOS の技術マニュアルには、フィードバックのための専用フォームが含まれています。ユーザはこれを使用して、マニュアルの内容を評価し、改善のための提案を行うことができます。マニュアルの品質向上のため、ぜひフィードバックをお寄せください。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco Explorer, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco TrustSec, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLYNX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1002R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2008–2010 Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

Copyright © 2008–2010, シスコシステムズ合同会社。  
All rights reserved.